

「千年サンゴの里」
今後の見解について

櫻谷議員

今年三月二十四日にオープンしました牟岐町物産館「千年サンゴの里」は、牟岐町の宣伝や牟岐町内の物産、加工品などを主に展示即売をするという、牟岐町の活性化を目的とした町長の新しい取り組みとして実施された事業ですが、当初想定した開設の効果はあったのでしょうか。

人件費、家賃、光熱水費、その他備品、消耗品など、財源の厳しい中、経費もかさんでいます。出品者の収益はどのくらいなのか、町の活性化にはどれくらいかの成果があったのか、そこに見えてくる課題はどのようなか、さらに牟岐町として、今後どのような形でサポートしていくのか、その期間については、どのように考えているのかも併せてお聞きします。

町長

牟岐町にお越し頂いた方には、牟岐町で土産物を買っていただきたいの思いから、また、町役場の所在が非常に分かりにくい位置にありますので、多くの市町村にある観光案内所を役場以外にも設置したいの思いから観光物産館を設置しました。

まだ三ヶ月しか経っていませんので、一年を過ぎた



観光物産館千年サンゴの里

時点で再度検討したいと思いますが、観光客の方に案内できる施設は町内に必要だと考えていますので、今後とも商工会の皆様と共にご指摘いただいた点を改善しまして、できるだけ早く経営が軌道に乗るよう進めてまいりたいと考えています。

産業課長

交流人口を増やして牟岐

町の産業、観光の活性化を図ることを目的としています。

スタート段階で委託先である商工会と十分で詳細な協議が若干遅れた事もありまして、只今その基盤づくりを行っているところです。開館日五十七日間で千二百人、一日平均二十一人。

町外からの来場者の割合は、約二十二%です。売上はトータルで八十万円弱、一日平均一万四千円です。

基盤づくりと並行して、協力団体、個人等の拡充を図り、千年サンゴの里を軸とした産業観光のネットワーク構築により、事業の展開に期待をしています。

通所、通学路の安全
確保はできるのか

一山 稔 議員

登下校中の児童を巻き込む交通事故が相次いで起き、保護者は心配を募らせています。子ども達は、学校、保護者、見守り隊や地域住民の協力で安全に登下校しています。が、危機意識向上を図るため安全教育はどのようにしているのか。

安全対策連絡協議会等の設置はできているのか。

新しい保育所、小学校への徒歩通学のコース指定はするののか。

バスの利用、運行計画は

しているのか。

通所、通学路にあたる全町の道路点検、安全確認や確保への調査はできているのか。

県道で歩道のない区間があるが、計画はあるのか、また、危険な山際の整備計画、今後の安全対策への考えは。

子どもの視点で調査を実施し、学校や地域、PTAとも連携して情報の共有化を図ることも大切だと思いが、見解を伺います。